

1. レタス生産を支える特定技能外国人(金城 孝氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 家族3名、特定技能外国人1名、技能実習生4名(5名ともインドネシア人男性)(令和2年10月現在)
- ・経営規模: 露地2.3ha(レタス2.3ha×2.5回転)、施設1ha(ゴーヤー、ヘチマ等)

ポイント

☆すべての作業を安心して任せられる特定技能外国人が技能実習生の指導も担う。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・温暖な沖縄の冬春期に2.3haのほ場でレタスを2.5回転させて大規模栽培に取り組み、主に県内の野菜加工業者に出荷している。
- ・また、本土は冬春期がレタス生産の端境期にあたることから、東京市場にも空輸で出荷しており、県外量販店には真空予冷装置を活用した船舶輸送での契約出荷もある。
- ・夏場は1haの施設で栽培したゴーヤー、ヘチマ等を出荷している。

【外国人材】

- ・特に冬春期の人手不足から平成27年より技能実習生の受け入れを開始し、現在雇用している特定技能外国人も、同年に技能実習生として受け入れ、平成30年に技能実習2号を修了し帰国した。その後、金城氏に雇用されることを希望して、在留資格を特定技能に移行のうえ令和2年3月に沖縄に再入国。今や特定技能外国人は金城氏のレタス生産において、きわめて重要なパートナーとなっている。

【外国人材の居住環境等】

- ・金城氏宅の近所に外国人材の住居を整備している。
- ・コロナ禍の前までは、同氏宅でバーベキュー等を開催して懇親を図っており、真栄平地区の豊年祭や糸満ハーリー等の地域イベントにも積極的に参加していた。



技能実習生の指導役も担い、金城氏からの信頼も厚い特定技能外国人(糸満市)



マルチングされたレタスほ場にて管理作業をしている様子

2. 野菜作りに携わる特定技能外国人(玉城 健三氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 家族2名、特定技能外国人1名(インドネシア人男性)(令和2年11月現在)
- ・経営規模: 露地1.3ha(キャベツ・ブロッコリー2回転、カリフラワー1回転、夏場はオクラ、ヘチマ等で作付延べ面積は2.3ha)

ポイント

☆すべての作業を安心して任せられる特定技能外国人の力を借りて経営規模拡大を図っている。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・沖縄の温暖な冬春期に1.3haのほ場でキャベツ、ブロッコリーを2回転させて(カリフラワーは1回のみ)、夏場はオクラ、ヘチマ、紅芋等の栽培に取り組んでいる。
- ・玉城氏は認定農業者に認定されており、農協生産部会にも加入し県内のファーマーズマーケット等に出荷をしている。今後、新たに50aの借り入れを予定している。

【外国人材】

- ・令和2年2月から登録支援機関の紹介で、県外の技能実習修了者(施設園芸)を特定技能外国人として雇用しており、雇用した外国人は真面目な性格でいつも黙々と農作業に取り組んでいる。
- ・更なる規模拡大と併せて、新たに1名の特定技能外国人の受け入れを予定している。

【外国人材の居住環境等】

- ・糸満市の市街地にあるアパートを賃借しており、玉城氏が貸与している車を通勤等に使用している。
- ・商業施設が近くにあることから買い物等に便利で、同国人との繋がりもあり、休日は近所のスーパー等で買い物をしている。



玉城氏と特定技能外国人(左)(八重瀬町)



特定技能外国人がマルチの穴開けの作業をしている様子

3. 小ぎく生産を支える特定技能外国人(大城 清助氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 家族4名、特定技能外国人3名、技能実習生1名(4名ともインドネシア人男性) (令和2年11月現在)
- ・経営規模: 露地1.3ha(小ぎく1ha、小松菜30a)、平張施設33a(小ぎく)

ポイント

☆特定技能外国人の雇用により大規模栽培が可能になり、地域活性化の面でも外国人材が大切な存在となっている。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・夏秋用小ぎくを露地と平張施設で栽培するなど、小ぎくの大規模栽培に取り組んでおり、JAおきなわを通じてすべて県外(東京方面が中心)に出荷している。
- ・小松菜を春彼岸用小ぎくの後作に栽培し、ファーマーズマーケットに出荷している。

【外国人材】

- ・令和2年3月から特定技能外国人3名を雇用。そのうち1名は数年前に大城氏のもとで技能実習を修了し、帰国後に本人の希望により再来日して同氏のもとで特定技能外国人として就労。他の2名も本外国人材の紹介で就労。
- ・技能実習生を6年前から受け入れており、特定技能外国人が技能実習生に農作業技術の指導が出来る体制の構築を図っている。

【外国人材の居住環境等】

- ・糸満市でアパートを賃借しており、大城氏が貸与している自動車通勤している。
- ・真栄平地域は外国人材を受け入れている農家が多く見られ、コロナ禍の前までは、糸満ハーリーやハロウィン等の地域イベントに積極的に参加しており、外国人が地域社会に溶け込んでいる。



特定技能外国人3人と大城氏(左から2人目)と息子(右端)(糸満市)



露地ほ場で小ぎくの摘心作業をする特定技能外国人3人

4. 野菜生産を支える特定技能外国人(玉城 忍氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 家族2名、特定技能外国人1名、技能実習生2名(3名ともインドネシア人男性)(令和2年12月現在)
- ・経営規模: 露地3ha(レタス2ha×2回転、キャベツ66a×2回転)、施設30a(ピーマンとゴーヤーを輪作)

ポイント

☆技能実習修了生が特定技能外国人として活躍。母国友人を就労先に紹介したいと言われるほどの信頼関係を構築。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・レタス・キャベツを主に量販店に契約出荷し、一部はJAおきなわを通じて仲卸にも出荷している。
- ・ピーマン、ゴーヤーは地元ファーマーズマーケットに出荷している。

【外国人材】

- ・技能実習修了者を本人の希望で、令和2年2月から特定技能として雇用。5年前から技能実習生を受け入れており、特定技能外国人には、苗づくり・収穫・選別・出荷まで、全ての作業を任せている。
- ・勤務日数は週6日(雇用契約は週5日であるが、本人希望により土曜日は休日勤務)。勤務時間も柔軟で、給与は勤務年数に応じて昇給している。

※技能実習生は週5日勤務。

- ・11月に修了する技能実習生の代わりに、年明けに技能実習生を1名受け入れる予定であり、12月修了予定の技能実習生は特定活動へ移行する。

【外国人材の居住環境等】

- ・圃場近くに住居を整備。外国人材のWi-Fi利用希望に対して玉城氏が機器設置。
- ・玉城氏が外国人材の宿舎に牛肉、鶏肉等を差し入れるなど、常日頃からコミュニケーションを取るようになっている。



特定技能外国人(右端)と技能実習生(左側2名)(糸満市)



圃場で作業する外国人材の様子

5. 豊見城市のブランド「ちゅらとまとミニ」の生産を支える特定技能外国人(安谷屋 重信氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県豊見城市
- ・従業員: 家族3名、パート男性1名、特定技能外国人1名(カンボジア人男性)、特定活動1名(ベトナム人男性)、技能実習生1名(ベトナム人男性)(令和3年1月現在)
- ・経営規模: 施設1ha(ミニトマト66a、ニラ等33a)

ポイント

☆技能実習修了者が特定技能外国人として就労し、異国の技能実習生らに作業指導。実習生らの日本語力向上にも寄与。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・JA豊見城支店のミニトマト専門部会に加入。主に豊見城市のブランド「ちゅらとまとミニ」を栽培しており、自動制御装置(液肥、水、温度調整)等を整備して高品質なミニトマトをJAに安定的に出荷している。(関東、関西市場向け。)
- ・ミニトマトの一部は地元農家と共同で、JAおきなわを経由して大手企業に契約出荷している。

【外国人材】

- ・技能実習修了者の希望で令和2年3月から特定技能外国人として雇用。5年以上前から外国人留学生、技能実習生を受け入れており、現在、特定技能外国人には播種・苗作り・収穫等の作業を任せている。

また、特定活動外国人は、特定技能外国人へ移行し、直接雇用をする予定。

- ・勤務日数は週6日、休日は日曜日。勤務時間は8h程度、休憩時間は1.5h(季節によって柔軟に対応)。

【外国人材の居住環境等】

- ・アパートを圃場近くに借り上げており、圃場まで徒歩圏内。商業施設も近くにあり、買い物等にも便利。
- ・コロナ禍の前までは、お正月に地域の農家(特定技能外国人等を含め)が、安谷屋氏宅に集い懇親を深めていた。



大手企業と契約栽培をしているミニトマト施設(豊見城市)



液肥・水を自動制御装置で管理している

6. ウコン、野菜の大規模栽培を支える特定技能外国人(小生 崇史氏)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県大宜味村
- ・従業員: 本人、日本人1名、永住資格取得者1名、特定技能外国人1名(2名ともミャンマー人男性)、(令和3年3月現在)
- ・経営規模: 露地約5ha(秋ウコン2ha~2.3ha、オクラ2ha、残りはキャベツ等)、
※新規就農時(15年前)は10a未満の経営規模だったが、現在は、外国人材を雇用して大規模経営者となっている。

ポイント

☆小生氏が全幅の信頼を寄せる特定技能外国人は、何事にも真摯に取り組み、大規模栽培での貢献度は極めて高い。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・小生氏は大宜味村の10a未満のほ場で新規就農(ラッキョウ等)し、その後、村内のマンゴー園勤務を経て5年前から本格的にウコン等の栽培を開始した。
- ・ウコンは県内の加工業者等に契約出荷しており、オクラ、キャベツ等は、県外の業者に契約出荷している。

【外国人材】

- ・令和2年3月から特定技能外国人を1名雇用。
- ・同人材は、小生氏が以前勤務していたマンゴー園で技能実習生として作業に従事していたが、母国で家業を継ぐため、露地野菜等栽培への従事を希望し、登録支援機関を通じて小生氏のもとで就労した。
- ・現在はウコンや野菜の栽培管理全般を任されている。

【外国人材の居住環境等】

- ・買い物等が便利で、生活がしやすい名護市でアパートを借りて、バイクで通勤している。
- ・名護市内に多数いる同国人とSNS等で知り合い、買い物等を共にして交流している。

【その他】

- ・小生氏と外国人材は前勤務先時代から5年以上の付き合いがあり、お互いの信頼関係が構築されている。
- ・外国人材は小生氏のもとで、在留期間中(通算で5年)は就労したいとのこと。
- ・小生氏は外国人材のがんばりに非常に助けられており、大規模栽培をしていくうえで、同人材はいなくてはならない大変重要な人物と評している。



キャベツの出荷作業に従事する特定技能外国人(大宜味村)



出荷に向けて洗浄・選別された秋ウコン

7. 小ぎく生産を支える特定技能外国人(株式会社美ら島)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 代表者、日本人2名、特定技能外国人2名(インドネシア人男性)、技能実習生5名(インドネシア人男性2名、ベトナム人3名)(令和2年11月現在)
- ・経営規模: 露地3.3ha(小ぎくを中心にスイートコーン、キャベツ等を作付)、施設1.7ha(小ぎく)

ポイント

☆ 特定技能外国人は技能実習経験を活かし、技能実習生の指導も担う。母国の違う外国人がいることで日本語の上達が早い。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・小ぎくの大規模栽培に取り組み、沖縄県花卉園芸農業協同組合(太陽の花)を通じて、すべて県外(東京方面が中心)に出荷している。
- ・外国人を受け入れることで、補助事業を活用した平張施設整備や、農業委員会を通して離農者から農地を借り入れて規模拡大を図ることができるようになり、小ぎく等の出荷量が増加した。

【外国人材】

- ・令和2年3月から特定技能外国人を2名雇用。うち1名は当社で技能実習を修了して、帰国後に本人の希望で就労している。令和3年3月には、技能実習生5名のうち2名が実習を修了して帰国することから、4月から新たに技能実習生2名(ベトナム人)を監理団体を通じて受け入れる予定。

【外国人材の居住環境等】

- ・糸満市でアパートを賃借。代表者が送迎する場合もあるが、基本は自動車等による通勤。
- ・コロナ禍の前までは、収穫等終了時の作業の区切りに当社でバーベキュー等をして懇親を深めている。



特定技能外国人と技能実習生による共同作業の様子(糸満市)



電照コードを設置する特定技能外国人2名

8. 小ぎく生産を支える特定技能外国人(農業生産法人 有限会社南陽花卉生産組合)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 代表者、日本人3名、特定技能外国人2名、技能実習生7名、留学生9名(18名ともインドネシア人男性)(令和2年11月現在)
- ・経営規模: 露地3.3ha(小ぎく、レタス)、平張施設1.3ha(小ぎく)、施設10a(ゴーヤー)※小ぎくの作付延べ面積が8haを超える年もある。

ポイント

☆当社は外国人材からの評判が良く、技能実習修了生やその親類等から特定技能就労先として希望が多い。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・小ぎく(年末年始用、春彼岸用、夏秋用)の大規模栽培に取り組み、主に関東、関西、東北等の仲卸業者に契約出荷している。
- ・レタスを春彼岸用小ぎくの後作に栽培し、ゴーヤーを夏場に施設で栽培している。

【外国人材】

- ・令和2年9月から特定技能外国人を2名雇用しており、いずれも当社で技能実習を修了して帰国後に再来日した。
- ・約30年前から外国人留学生アルバイト(労働時間:28h以内/週)を受け入れている。

【外国人材の居住環境等】

- ・圃場近くに宿舎を整備しており、圃場までの通勤は、当社が貸与している自動車を使用するか徒歩。
- ・外国人材の出身地によって宗教や慣習が異なるので、宿舎を別にするなど配慮している。
- ・コロナ禍の前まで、地区の行事や沖縄の伝統文化等に触れられるよう、関連イベント等に参加させたり、トレーニングジム等も完備し福利厚生の実施を図っている。

【その他】

- ・外国人材との良好な人間関係を保つために、対等な立場で接することを常に心がけている。



特定技能外国人と金城代表
(糸満市)



小ぎくの仕立て作業をする
特定技能外国人

9. 野菜生産を支える特定技能外国人(株式会社グリーンフィールズ)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県糸満市
- ・従業員: 代表者、日本人4名、特定技能外国人2名(2名ともカンボジア人男性)(令和2年11月現在)
- ・経営規模: 露地5.9ha(キャベツ5ha×2回転)、施設83a(なす、ピーマン、きゅうり等)

ポイント

☆ 日頃からレクリエーションの実施や給与面の配慮など特定技能外国人がやる気を維持できる雇用環境づくりを徹底。

取組の特徴・効果

【農業振興】

・キャベツは量販店、加工会社(カット野菜用)に契約出荷している。ピーマン、ナス、きゅうりは地元ファーマーズマーケット等に出荷している。現在、県内量販店と契約交渉中だが、先方の要望に応じて品目や作付面積を増やすことから、令和3年には新たに特定技能外国人1~2名の雇用を予定している。

【外国人材】

- ・県内で技能実習を修了し帰国後、再来日した特定技能外国人を令和2年3月から雇用している。
- ・技能実習を修了しているので、栽培管理全般、選別・出荷作業等を任せている。
- ・勤務日数は週5日で、早退が可能となるよう勤務時間は柔軟にし、超勤はさせていない。

【外国人材の居住環境等】

- ・糸満市の市街地でアパートを賃借しており、当社従業員が住居と圃場を送迎することもある。
また、当社でWi-Fiを設置し、母国の家族とも気軽に連絡ができるようになっている。
- ・コロナ禍の前までは、当社で毎月バーベキューをしたり、世界でも有名な回転ずしチェーン等で食事会を行い、常日頃からコミュニケーションを取っている。



特定技能外国人(糸満市)



施設で栽培されている
ピーマン

10. 法人の規模拡大を支える特定技能外国人材(農業生産法人 株式会社菜縁おきなわ)

経営の概要

- ・所在地: 沖縄県八重瀬町
- ・従業員: 代表者、日本人3名、パート3名、特定技能外国人1名、技能実習生2名(3名ともカンボジア人男性)(令和3年3月現在)
- ・経営規模: 露地2.0ha(カリフラワー、オクラ、枝豆)、施設66a(トマト40a、ミニトマト、ピーマン、キュウリ(周年))
※大半が小作地で、外国人材の受入れ前(5年前)の経営規模は1.3haであったが、現在は約2倍の面積まで規模拡大をした。

ポイント

☆当社は、外国人材に対して単に被雇用者としてではなく、一人の大切な人材として接することを常に心懸けている。

取組の特徴・効果

【農業振興】

- ・トマト等の野菜を主に県外の卸業者に出荷しており、コロナ禍による食品宅配ニーズの高まりで、卸業者から食品宅配事業者への流通が増加し、経営の後押しとなっている。
- ・外国人材を周年雇用するため閑散期にはオクラ、枝豆等を栽培しているが、今後は登録支援機関を含めて北海道の農家とお互いの繁忙期に雇用して、北海道と沖縄で周年雇用をできないか検討していく。(例えば、夏場は北海道、冬場は沖縄で雇用することで、閑散期のことを心配せず、外国人材の増員や規模拡大が図られる。)

【外国人材】

- ・令和2年10月に当社で技能実習を修了し、帰国後に再来日した特定技能外国人を1名雇用。
- ・5年前から技能実習生を受け入れており、実習修了にあわせて新規の実習生も受け入れている。
- ・特定技能外国人が技能実習生の指導的立場になって圃場等で指導・助言をしている。

【外国人材の居住環境等】

- ・集出荷施設の一角を宿舎として整備し、圃場までは日本人従業員が車で送迎している。
- ・休日は、当社代表が食材の買い出しに連れて行ったり、近くの海岸で投網を教えたりしている。
- ・また、当社から収穫野菜の一部を無償で提供することで、外国人は生活費を押さえることができています。

【その他】

- ・閑散期を含み年間を通して給与が補償されており、また、週休2日制で休暇取得にも配慮をしている。
- ・普通免許を取得したら給与に反映することで、外国人の働く意欲や向上心を高めている。
- ・勤務時間中に集出荷できない農産物は、外部委託し、繁忙期でもゆとりを持って働ける職場環境づくりに努めている。



特定技能外国人と上地代表
(八重瀬町)



トマトのパッキング作業をする
特定技能外国人